

「30歳 総合職」で

年収450万円を払おう！

北見式賃金研究所 北見昌朗 2016年 平成28年

ホドホドの仕事

ソコソコの給与

北見式賃金研究所 北見昌朗 からの提案 2016年 平成28年

” ガラス細工のような『ひとりっ子世代』 ” に対応した穏やかな賃金制度

「イマドキの若者は、幼稚園時代に、お手々つないで一緒にゴールインした世代である。彼らが好むのは競争ではなくて”きずな”である。30歳までの若年層を定着育成するには、年齢とか勤続とかを基軸にした、穏やかな賃金制度の方が向いている」

賃金改定の目的と、対策を、わかりやすく表現すれば…

(社長の希望は…)	(目的)	(対策)	(例えば…)
「ワンサカと」集まる	求人対策	初任給と休日	初任給の最新情報を把握する。その内訳も重要で、みなし残業代がある場合は要注意。年休の消化のことまで意識しながら、求人では負けない所定休日数にする。
「コツコツと」働いてもらう	勤続奨励	勤続給	賃上げ相場を把握して、負けないように昇給する。
「モクモクと」働いてもらう	出勤奨励	X	X
「バリバリと」働いてもらう	昇進意欲	役職手当	管理職に昇進したがる役職手当の仕組み。
「ガリガリと」働いてもらう	生産性向上	業績手当	「1人あたり粗利益」が前年を上回ったら業績手当を全員に支給する。賞与を業績連動型にする。
「ニコニコと」働いてもらう	家庭を大事に	子供手当	家族手当を見直す（配偶者分を廃止して、子供分を増額。配偶者がなくて子供を養育する人には加算も）
「イキイキと」働いてもらう	65歳まで働く時代	個人別にメリハリ	中高年の賃金は職務能力に応じてメリハリを。（年齢により一律に減額することを止める）やる気のある人は年金を受給せずに働くコースも

↓

「従業員にコツコツと、モクモクと、ニコニコと、働いてもらうようにする。それでも、業績が上がらないとしたら、問題は経営者にある」（北見昌朗）

平成28年元旦 (株) 北見式賃金研究所 北見昌朗

2016年 北見式賃金モデル「30歳 総合職 年収450万円」

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M				
基本給	勤続定昇	査定定昇	役職手当	子供手当	業績手当	所定内	時間外30H	賃金総額	手取月額	X	夏冬	決算賞与	年間賞与	賞与月数	年収	
30	245,000	1,000	4,000	5,000	0	3,000	253,000	54,841	307,841	246,273	50,000	750,000	50,000	850,000	3.4	4,544,092
29	240,000	1,000	4,000			3,000	243,000	52,673	295,673	236,539	50,000	720,000	50,000	820,000	3.4	4,368,081
28	235,000	1,000	4,000			3,000	238,000	51,590	289,590	231,672	50,000	705,000	50,000	805,000	3.4	4,280,075
27	230,000	1,000	4,000			3,000	233,000	50,506	283,506	226,805	50,000	690,000	50,000	790,000	3.4	4,192,069
26	225,000	1,000	4,000			3,000	228,000	49,422	277,422	221,938	50,000	675,000	50,000	775,000	3.4	4,104,064
25	220,000	1,000	4,000			3,000	223,000	48,338	271,338	217,071	50,000	660,000	50,000	760,000	3.5	4,016,058
24	215,000	1,000	4,000			3,000	218,000	47,254	265,254	212,203	50,000	645,000	50,000	745,000	3.5	3,928,052
23	210,000	1,000	4,000			3,000	213,000	46,171	259,171	207,336	50,000	630,000	50,000	730,000	3.5	3,840,046
22	205,000	1,000	19,000			3,000	208,000	45,087	253,087	202,469	50,000	615,000	50,000	715,000	3.5	3,752,040
21	185,000	1,000	4,000			3,000	188,000	40,751	228,751	183,001	50,000	555,000	50,000	655,000	3.5	3,400,017
20	180,000	1,000	4,000			3,000	183,000	39,668	222,668	178,134	50,000	540,000	50,000	640,000	3.6	3,312,012
19	175,000	1,000	4,000			3,000	178,000	38,584	216,584	173,267		525,000		525,000	3.0	3,124,006
18	170,000					3,000	173,000	37,500	210,500	168,400		510,000		510,000	3.0	3,036,000

(30歳時点の年収の内訳)

目的	生活給	定着	査定	昇進	子育	生産性	残業	出勤奨励	やる気喚起	経常利益	業績反映					
性格	固定費	固定費	固定費	固定費	固定費	業績連動	残業代	業績連動	業績連動	業績連動	業績連動					
一言	コツコツと	コツコツと	コツコツと	バリバリと	ニコニコと	ガリガリと	ガリガリと	モクモクと	ガリガリと	ガリガリと	ガリガリと					
30	245,000	1,000	4,000	5,000	0	3,000	253,000	54,841	307,841		50,000	750,000	50,000	850,000		4,544,092
	2,940,000			60,000	0	36,000	3,036,000	658,092	3,694,092		50,000	750,000	50,000	850,000		4,544,092
	0.65			0.01		0.01	0.67	0.15	0.82		0.01	0.17	0.01	0.19		100.00

	月額	年額	賞与
固定費	250,000	3,000,000	0
残業代	54,841	658,092	0
業績連動	3,000	36,000	850,000
		4,544,092	886,000
			1.00

イザとなったら、年収を 0.66 にできる。

休日	105	110	115
1日	8	8	8
年間	2,080	2,040	2,000
残業	360	360	360
年間実働	2,440	2,400	2,360
年収	4,544,092	4,544,092	4,544,092
人件費	5,452,911	5,452,911	5,452,911
時給	2,235	2,272	2,311

年間実働時間数
 年収*1.2倍
 人件費÷年間実働時間数

従業員に「年収400万円以上」を払う会社になろう！

(所得税という観点からすれば…)

日本の税収を支えているのは年収400万円以上の人である。
 年収400万円超の人は、勤労者の4割を占めているが、所得税の税収の中では9割近くを占める。

	人数	%	税収	%
400万円超800万円以下	45.2		84.9	
400万円以下	54.8		15.1	
	100		100	

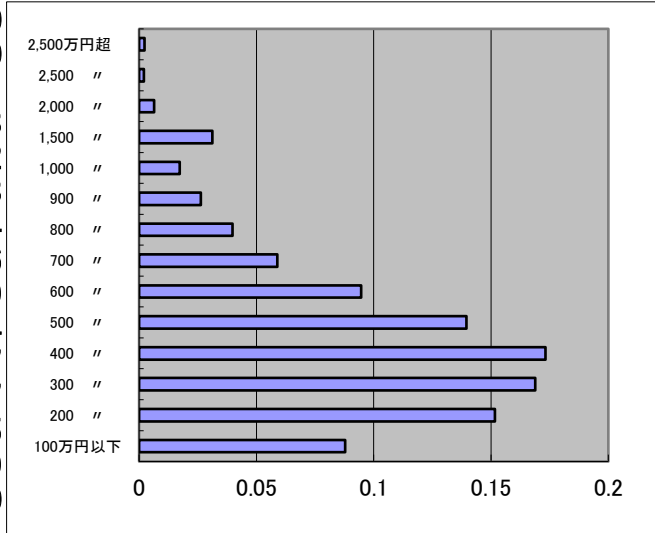
	人数	%	税収	%
	41.8		88.6	
	58.2		11.4	
	100		100	

国税庁の民間給与実態調査結果

年	所得税
平成17年	9兆円
平成26年	8兆9千億円

年収分布別の勤労者数
構成比

2,500万円超	0.00
2,500 "	0.00
2,000 "	0.01
1,500 "	0.03
1,000 "	0.02
900 "	0.03
800 "	0.04
700 "	0.06
600 "	0.09
500 "	0.14
400 "	0.17
300 "	0.17
200 "	0.15
100万円以下	0.09
	1.00



「ズバリ！ 実在賃金」の年収グラフ 平成27年度 愛知県版

